

## 資料 1

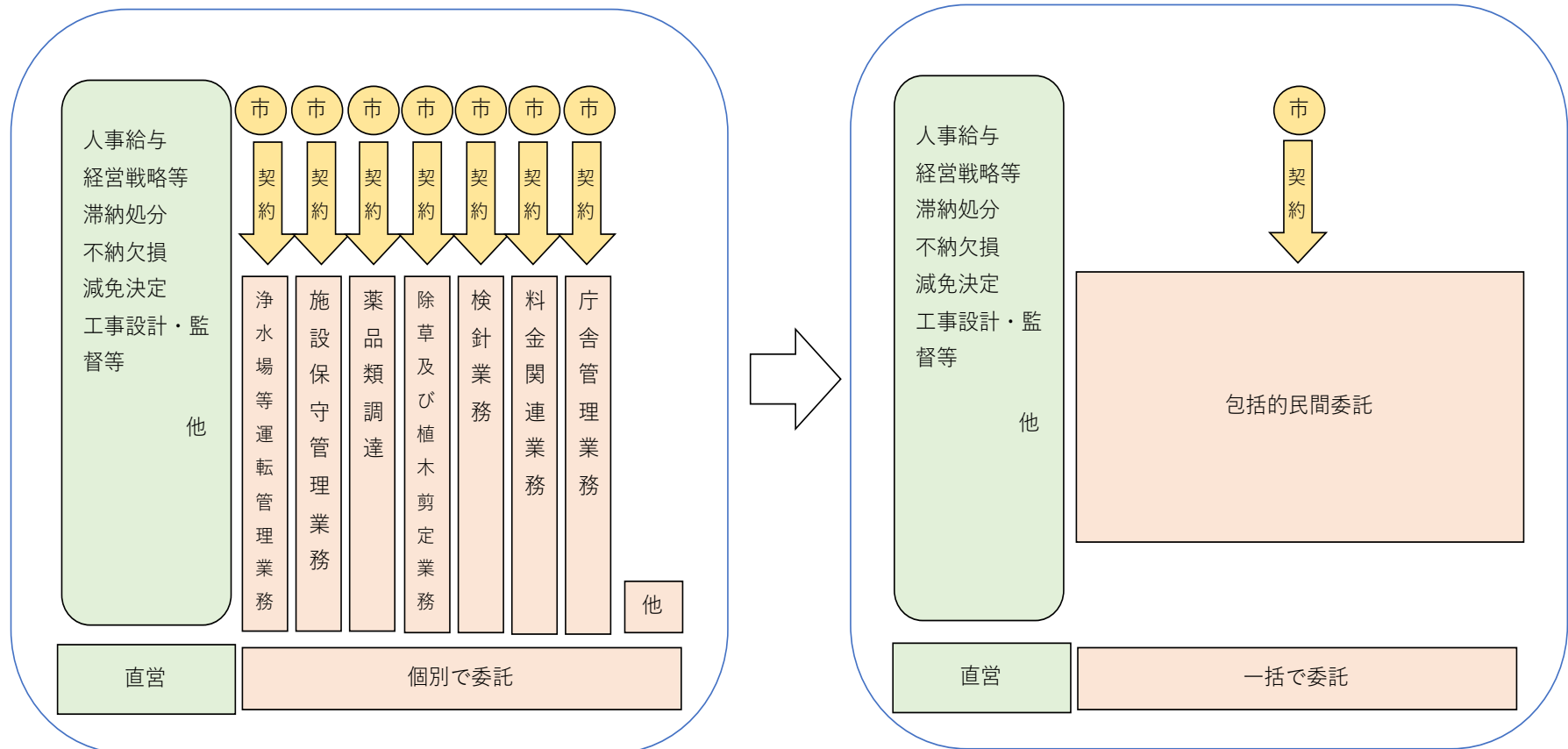
# 福知山市上水道事業等 包括的民間委託について

第一次から第二次まで

令和5年9月13日  
福知山市上下水道部

## 包括的民間委託とは？

### 包括的民間委託のイメージ



## 具体的な委託業務

### 委託業務

- |                          |                       |                      |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|
| 1 旧簡易水道日常保守管理業務          | 21 堀第1水源閉塞に伴うエアブロー業務  | 41 上下水道部消防設備点検業務     |
| 2 毎日採水・水質検査業務            | 22 ろ過池清掃業務            | 42 庁舎ほかねずみ・衛生害虫防除業務  |
| 3 電気設備保守管理業務             | 23 有収率向上対策調査業務        | 43 上下水道部環境測定業務       |
| 4 電気計装設備保守管理業務           | 24 マッピング・給水詳細ファイリング業務 | 44 上下水道部庁舎空調機器保守点検業務 |
| 5 監視制御システム保守管理業務         | 25 除草業務               | 45 ガス空調機器保守点検業務      |
| 6 濁色度計・高感度濁度計保守管理業務      | 26 植木剪定業務             | 46 書類受付処理業務          |
| 7 コンプレッサー保守管理業務          | 27 上下水道・農集事業 休日夜間対応業務 | 47 給水装置工事申込等に係る業務    |
| 8 ICP発光分光分析装置点検整備業務      | 28 水道料金等徴収業務          | 48 排水設備計画確認申請等に係る業務  |
| 9 イオンクロマトグラフ点検整備業務       | 29 宅内排水設備工事関連業務       | 49 料金減免等調定更正業務       |
| 10 超純水生成装置保守管理業務         | 30 水道事業個別業務           | 50 水道施設運転管理業務        |
| 11 膜ろ過施設保守管理業務           | 31 上下水道料金システム保守業務     | 51 ユーティリティ管理業務       |
| 12 次亜生成装置電解槽酸洗い業務        | 32 上下水道料金システム構築業務     | 52 中期事業計画点検業務        |
| 13 急速ろ過機・連続移動床砂ろ過機保守管理業務 | 33 庁舎・堀浄水場機械警備補助業務    | 53 施設情報運用計画          |
| 14 細砂ろ過機保守管理業務           | 34 下荒河浄水場機械警備補助事業     | 54 施設台帳更新業務          |
| 15 膜ろ過機薬品洗浄業務            | 35 上下水道部定期清掃業務        |                      |
| 16 浄水池ほか底部潜水清掃業務         | 36 下荒河浄水場管理棟清掃業務      |                      |
| 17 自家発電設備保守点検業務          | 37 上下水道部庁舎ほか日常清掃業務    |                      |
| 18 ホイスト・クレーン定期自主点検       | 38 庁舎1階シャッター保守点検業務    |                      |
| 19 浄化槽清掃点検業務             | 39 自動扉設備保守点検業務        |                      |
| 20 緊急修繕業務                | 40 上下水道部庁舎エレベータ保守点検業務 |                      |



福知山市上水道事業等包括的民間委託業務

なぜ福知山市は包括的民間委託を導入したのか？

## 【将来の課題】

- 水需要の低下による料金収入の減少
- 老朽化管路・施設の更新費用増大による経営基盤の悪化



## 【収入の確保】平成29年7月料金改定

料金改定を行うにあたっては、組織自ら経営改革を行う必要があり官民連携を積極的に進めるとして



【業務の効率化】平成31年4月包括的民間委託業務開始  
約25億円で5年間の包括的民間委託を契約



▲上水道事業等包括的民間委託業務  
業務開始式（平成31年）

包括的民間委託・・・複数年契約・包括(一括)委託・性能発注であることが必須  
→受注者の裁量→効率化【無駄の排除・意思決定の迅速化等】

- 委託期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間【複数年契約】
- 業務内容 従来委託していた45業務に9業務を加え54業務を一括委託【包括】
- 契約方法 プロポーザル方式により決定【性能発注】

性能発注とは？

包括的民間委託では、方法を記載した仕様書ではなく、到達目標を記載した要求水準書が必要です。

## ■業務イメージ

除草前	除草後【仕様規定】	除草後【性能規定(試行)】
	<p>※除草の延長・幅・回数等の仕様を規定 ⇒仕様書に定められた延長・幅・回数 どおりの除草作業を行う。 (=主に夏季に除草作業を1回実施して完了)</p>	<p>※安全な交通を確保する性能を規定 ⇒安全な交通を確保できるのであれば、 手法は受託者の裁量で判断できる。 (=除草以外の手法も可) (=見通しの良い箇所では、従前に比べ除草範囲が狭まる可能性有り) (=除草作業の前後を問わず、一定期間のモニタリングが必要)</p> <p>・除草又はその他手法 ・道路線形、山側or谷側等の 現場条件に応じた除草</p> <p>【住民側のメリット】 負担増を伴わずに 年間を通し一定の料金を享受</p>

国土交通省インフラメンテナンスにおける包括的民間委託導入の手引き福島県資料より抜粋

## ○委託期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間

(契約日から令和6年3月31日まで準備期間) ※約6か月の準備期間を想定  
約39億円で5年間の包括的民間委託を契約

## ○有収率向上対策

漏水調査等により発見された漏水の予防保全修繕や減圧弁保守点検を有収率向上対策業務として新規に委託することで復元漏水を防止し、継続的に有収率を向上させ経費の削減を図ります。

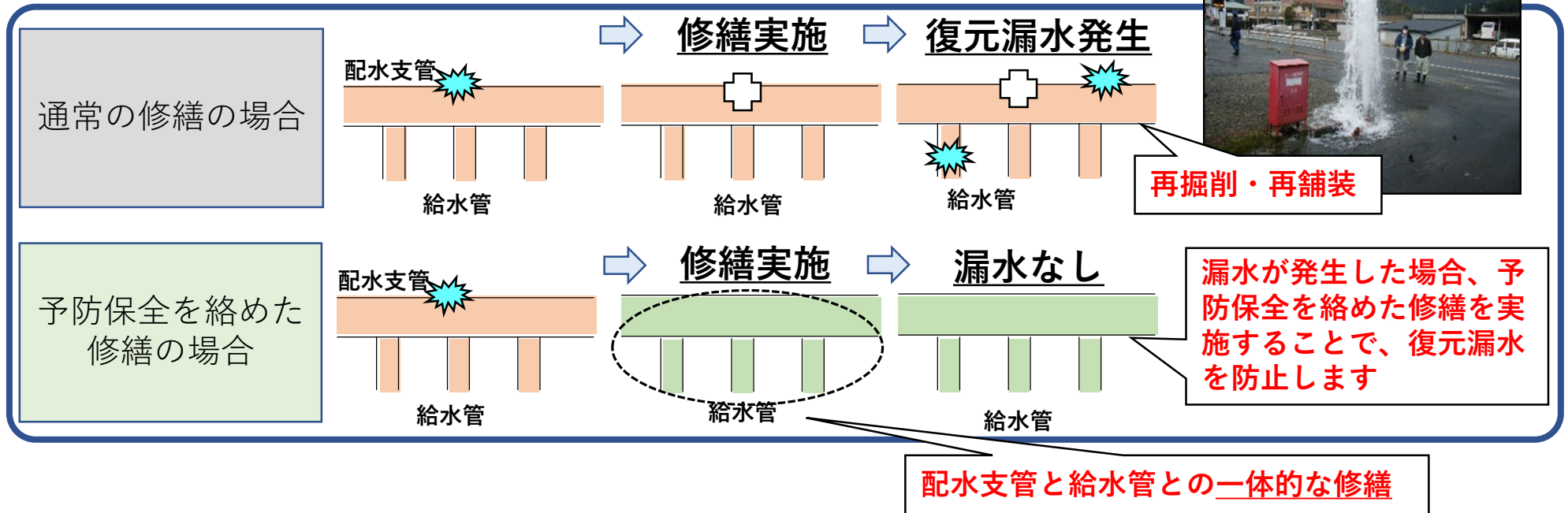
【復元漏水とは？】 漏水は複雑な要因により、絶えず発生しており、漏水修繕をしても期間が経過するにつれて再度漏水が発生する、このことを復元漏水という。漏水修繕をしても、地区単位で1年後には約73%で復元漏水が発生する。～堀1系年度別漏水調査結果より～

### 全国平均有収率に到達した場合、削減されると予想される水道水をつくるために必要な費用

例) 30年度年間総配水量 11,651,523ℓ - (年間総給水量 9,437,114ℓ ÷ 87.41%) × 給水原価 193.58円

年度	30年度	元年度	2年度	3年度
全国平均有収率 人口5万人～10万人	87.41%	87.08%	87.26%	87.57%
本市有収率	80.99%	79.13%	80.20%	82.25%
予想費用削減額	1億6,554万円	2億701万円	1億7,404万円	1億2,490万円

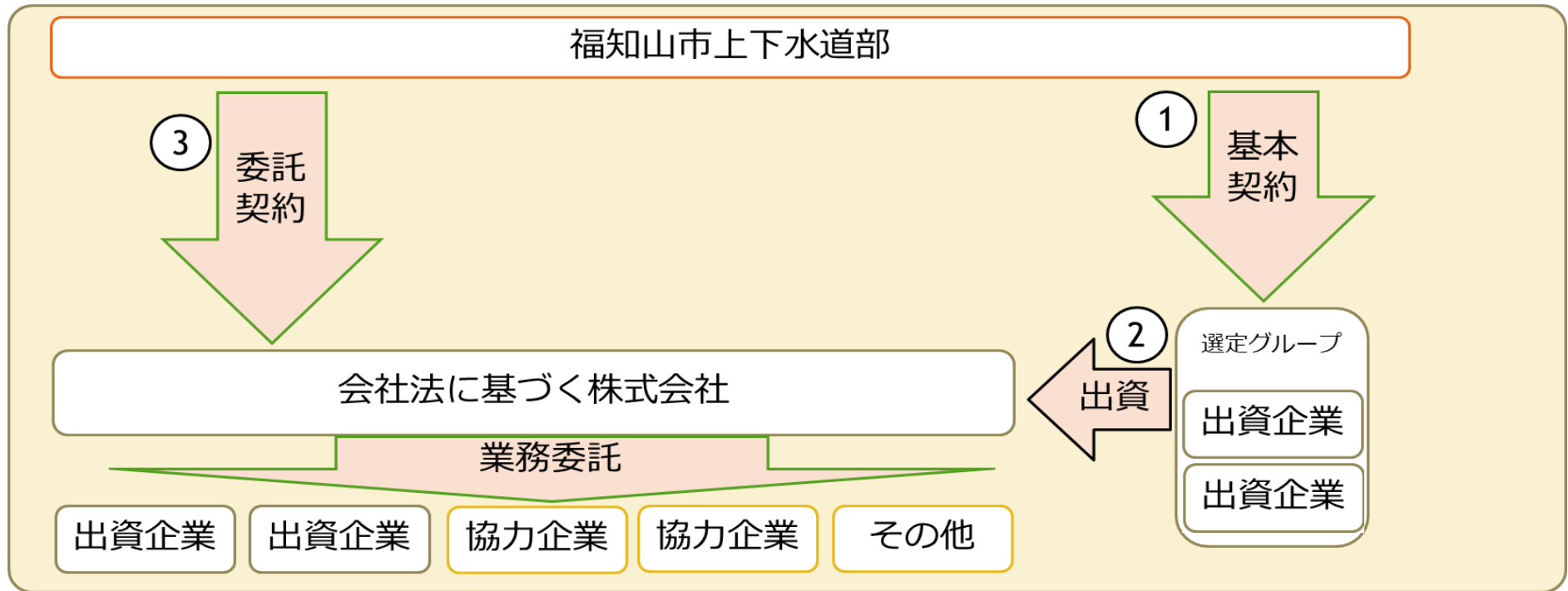
予防保全修繕や減圧弁保守点検を有収率向上対策業務として新規に委託します。  
(緊急修繕、漏水調査業務、施設修繕、BOX内修繕と併せて委託)



- ・ 再掘削、再舗装、復元漏水発生防止による経費削減
- ・ 通行止め予告や計画断水による市民生活への影響の軽減

## ○会社法に基づく新会社の設立

委託契約を受託するための新会社を新たに設立し、JV方式よりも更に迅速な意思決定や、経理内容の明確化を図ります。



事業者選定はプロポーザル方式で実施、選定グループと基本契約を締結後、選定グループが設立した株式会社と委託契約を締結します。



## 第二次福知山市上水道事業等包括的民間委託業務開始までのスケジュール

年	令和5年										令和6年			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
プロポーザル				7/19										
基本契約					→									
法人設立						→								
業務委託契約							→							
業務引継期間								→						
業務開始													→	

プロポーザル

選定グループと基本契約を締結後、設立された会社と業務委託契約

令和6年度からの円滑な業務を行うため6か月間の引継期間を設けます(修繕予定箇所  
の調整等)